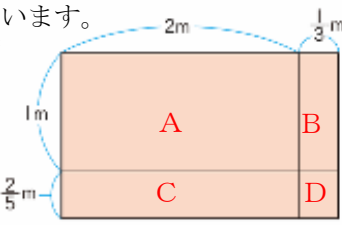


## 5. 本時のねらい

面積を求める問題を図に表して考える活動を通して、帯分数は仮分数に直してから計算すればよいことに気付く、正しく計算することができる。(技能)

※人権教育の観点 自分のやり方をペアや自由交流の中で誰に対しても説明することができる態度 (行動力)

## 6. 本時の展開 (スーパーじっくりコース)

	学習活動	指導援助 評価規準
つかむ	<p><b>1. 問題場面を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     縦 <math>1\frac{2}{5}</math>m、横 <math>2\frac{1}{3}</math>mの長方形の花だんがあります。                      この花だんの面積を求めましょう。                 </div> <p>・分かっていることには直線、求めることは波線を引き、何を求める式を立てればよいのかを明らかにして式を立てる。                  ※長方形の面積を求める式  <math>\times</math> (各自ノートに書く。)                  2つの計算の方法を提示する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">                     ㊦ <math>1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} = \frac{7}{5} \times \frac{7}{3}</math>  <math>= \frac{49}{15}</math>  <math>= 3\frac{4}{15}</math> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">                     ㊧ <math>1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} = 1 \times 2 + \frac{2}{5} \times \frac{1}{3}</math>  <math>= 2 + \frac{2}{15}</math>  <math>= 2\frac{2}{15}</math> </div> </div> <p>2つの計算の方法で違いは何かを考える。                  ・答えが違う。計算の方法がちがう。</p>	<p><b>実態を見届ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習同様、式を立てるところまでは、自分で進めるように促す。特に、立式の根拠については「長方形の面積は縦×横なので」という言葉を使うよう助言する。</li> <li>2つの計算の方法を提示しどこが違うかを把握しているかを見届け課題化につなげる。(挙手・発言)</li> <li>課題化した後、二つのやり方がどのような方法で考えているかを見通しもたせてから問題に取り組ませる。</li> </ul>
考える	<p><b>2. 課題をつくり、見通しをもつ。</b></p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     帯分数どうしのかけ算のしかたはどちらが正しいかを図をもとにたしかめよう。                 </div> <p><b>3. ㊦のやりかたについて考える。</b>                  ≪仮分数に直して計算≫                  この方法は仮分数に直して計算します。  <math>1\frac{2}{5}</math>は仮分数に直すと、<math>\frac{7}{5}</math>m                  横の長さは <math>2\frac{1}{3}</math>mで仮分数に直すと <math>\frac{7}{3}</math>m                  長方形の面積は縦×横なので <math>\frac{7}{5} \times \frac{7}{3} = 3\frac{4}{15}</math>m                  長方形のすべての面積を求められているので正しい。</p>	<p><b>学習状況を見届ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦の方法は一斉に行い図と式を関連付けながら求めるやり方を教える。追究のしかたを教えることで、個人追究に入る際、自信をもたせてからできるようにする。</li> <li>帯分数どうしのかけ算は、帯分数のままではなく、仮分数に直して計算すると求めることができることを理解できているか確認する。</li> <li>いの方法でやると、AとDの面積の部分しか求めることができていることに気付いているかを見届ける。</li> <li>どちらの方法が正しいか、図と式を関連付けながら説明できているかを見届ける。</li> <li><math>\frac{7}{5}</math>は図のどの部分ですかと問いかけ、図と式の対応ができているかを見届ける。</li> <li>全体交流の前にペア交流を位置付け、考えを深めるようにする。</li> </ul>
深める	<p><b>4. 個人追究する。</b>                  ㊦の方法は個人で追究をし、図と式を関連させながらたしかめる。                  ≪整数と真分数に分けて計算≫                  この方法は整数と分数に分けて計算しています。  <math>1 \times 2 = 2</math>の面積は図で表すとAの面積  <math>\frac{2}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{2}{15}</math>の面積は図で表すとDの面積                  図のBとCの面積を求めることができていないので、この方法は正しくない。</p>	
まとめる	<p><b>5. 交流をする。</b>                  ペアで二つの方法を確認する。                  ・それぞれの式を示しながら交流する。                  あといの方法ではあの方法が正しいと思います。                  あの方法は帯分数を仮分数に直して計算し、すべての面積を求めることができているので、正しいです。                  いの方法は図をもとにして考えると、BとCの部分の面積を求めることができていないので長方形全体の面積を求めることができていないので、いの方法は正しくないです。</p> <p><b>6. まとめ</b></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     帯分数は、仮分数に直して計算する。                 </div> <p><b>7. 教科書の練習問題に取り組む。</b>                  ・帯分数を仮分数に直す方法で計算する。</p>	<p><b>評価規準</b>                  帯分数を仮分数に直して正しく計算している。【技能】</p> <p><b>定着状況を見届ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○帯分数を仮分数に直しているかどうかを見届ける。</li> <li>○早く問題が解けた児童にはどんどんプリントに取り組ませ、習熟を図る。</li> </ul>